

第7回松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会 議事概要録

開催日時：平成31年1月18日（金）

午後2時～午後3時20分

場 所：松山市役所 別館6階 第3委員会室

午後2時 開会

《挨拶》

【曲田会長】

- ・先日来、道後温泉本館の改修というニュースが流れており、今年から7年をかけての保存再生工事になる。再生竣工は2025年前後になるが、本案件である駅周辺整備もそれと相前後して進んでいく。時期を同じくして新たな賑わいを作り出せるようしっかりと議論をしていきたい。

《議題1：事業進捗状況の報告》

【事務局説明】

- ・議題1資料、参考1，2，3，4に基づき、事業進捗状況について説明

【曲田会長】

- ・これまでの経過を踏まえて活動状況の報告があった。平成30年度は、特に地権者、学生、建築士等が参加する土地利用勉強会を行っているようだが、参加された方から感想をいただきたい。

【A委員】

- ・私は地権者としてほとんどの勉強会に参加させていただいた。最初は硬い感じであったが、ファシリテーターの加藤さんが、和やかな雰囲気を作っていただき、参加者が必ず発言できるよう工夫をされていた。
- ・最初はまち歩きをしながら駅前の課題を議論して、秋ごろから1か月に1回は勉強会を開催した。
- ・今の駅前に必要なものを探す旅というチームに参加し、駅の利便性を向上させるというテーマで新聞を作った。他都市の駅の事例を調査した資料を見ながら、課題を検討した。JR四国の愛媛企画部長などの前で発表し高評価をいただいた。
- ・他の班では駅前でライブをしたり、学生さんが駅の飲食店の紹介マップを作ったりしている。今後も勉強会の参加者を増やして、よいものにしていきたい。自分たちで考えてまちづくりの提案をしていきたい。

【曲田会長】

- ・参考3の松山駅周辺ビジョン2027について伺いたい。

【事務局説明】

- ・(説明)
- ・昨年の勉強会で、松山駅周辺の10年後のビジョンを地権者たちが作った。まず、現状の課題を話し合っ、そこからキーワードを抽出し、方針を打ち出した。

【曲田会長】

- ・昨年度ビジョンを作っ、イメージを膨らませながら、今年度は進めているとのことだった。

《議題2：松山駅前広場等の検討》

【事務局説明】

- ・議題2資料に基づき、路面電車引込みルートのご検討について説明

【曲田会長】

- ・前回3案の路面電車引込み案が提示されたが、いろいろ課題があったので今回追加案のご検討が行われた。事務局は追加検討案が最適であるとの結果であるが、みなさんの意見を伺いたい。

【B委員】

- ・乗り換えだけを考えるとA案がベストかもしれない。しかし路面電車の運行の安全性も含めて考えると追加検討案がベターでよいと思う。駅前広場北側の街路について、トランジットモールのような歩行者の動線の自由度を保てる形を検討していただきたい。

【伊予鉄道株】

- ・トランジットモール化は、歩行者の安全性の観点から難しいと考えている。富山や高岡でも路面電車の駅前乗り入れ事例があるが、トランジットモールではない。完全なトランジットモールは安全面での問題があるため現段階では難しいと考えている。今回の追加案の軌道はシンプルで、どこに行けば駅や電停があるかわかりやすい案だと思う。運行ダイヤについて今後考えていく。

【C委員】

- ・追加検討案での課題は、JR駅と電停の連絡が遠くなることである。また、トランジットモールとして計画した駅前広場北側の街路の整備の意味が薄くなる。市民は駅と路面電車が近くなると思っているので、十分な説明が必要であると思う。

【D委員】

- ・追加検討案により進めていくことに異論はないが、今後、歩行者の安全性や交差点

処理などの詳細を検討する必要がある。

【A委員】

- ・資料で黄色く塗られている駅前広場に路面電車が通行するのは、安全性の問題があると思う。
- ・私は、A案が駅に近く市民としては使いやすいと思う。松山に初めて来る方は、路面電車でどこに乗って、どこで切符を買うのか聞きたいはずである。電停を駅ビルの近くに置けないか。路面電車の引込みは追加検討案がよいが、これになるべく駅に近い位置に電停をもっていけないか。

【事務局】

- ・路面電車軌道の曲線半径など制約があり、これ以上電停を駅に近づけることは難しい。駅と電停の距離については、今後広場の整備の検討の中で、乗り継ぎの距離を感じないような工夫を行っていききたい。

【曲田会長】

- ・追加検討案はベストではなく、全体としてよい案という意見である。今後も検討を続けていく。

【吉井副会長】

- ・緑色で示されている街路は、軌道を設置した場合、歩行空間が狭くなるのでランジットモールにすべきである。
- ・追加案の場合、駅と電停は多少離れているが、この程度は問題ないと思う。できれば雨をしのげるようにしてもらいたい。
- ・大手町通りへ向かう既存の地下道を今後も利用するのか。

【事務局】

- ・まだ検討中である。

【吉井副会長】

- ・ぜひ、地下道は無くす方向で検討していただきたい。
- ・一番に歩行者を優先して検討していただければ、賑わいにつながると思う。

【事務局】

- ・駅前広場の具体的な計画づくりはこれからになるので、いただいたご意見を踏まえて、計画づくりをしていきたい。

【伊予鉄道株】

- ・街路空間の歩行者の自由度について懸念している。簡単にフリーにすることは避けてもらいたい。

【吉井副会長】

- ・今後検討してもらいたい。駅前広場空間内に柵を設けることは極力回避すべきである。

【伊予鉄道株】

- ・ A 案で問題なのは、路面電車の運行が難しいことを理解いただきたい。

【曲田会長】

- ・ 電停と駅が離れることについては、歩行者の安全性確保も含めて今後の検討課題である。
- ・ 追加検討案をベースに今後の作業に入ることを了承していただきたいがよいか。

【E委員】

- ・ トランジットモールができないのであれば、この計画が頓挫するので、市と伊予鉄で十分検討してもらいたい。計画段階から伊予鉄さんに入ってもらいたい。

【事務局】

- ・ 富山駅は柵をつくるのではなく、花壇などを設置して歩行者を誘導する等の工夫をしている。どこでも自由に歩行者が軌道を横断することは路面電車の運行上問題であると認識しているので、今後検討していく。

【曲田会長】

- ・ まずは、追加検討案をベースに作業を進めてほしい。いただいた意見を踏まえて次のステップに進めるということによろしいでしょうか。

《一同了承》

《今後の予定》

【事務局】

- ・ 今後、駅前広場の整備に向けた準備作業に入る。検討にあたって、交通事業者や利用者代表等が入った組織を別途作り、検討を進める。結果は随時本協議会へ報告するのでよろしく願います。

午後 3 時 20 分 閉会